

第9号(2000.12.15発行)

国絵図研究会〒310-8512 水戸市文京区2丁目1番

茨城大学教育学部小野寺淳研究室内

TEL&FAX 029-228-8294 (ダイヤルイン)

国絵図ニュース

第14回例会 伊能忠敬記念館の国絵図熟覧と研究発表会

暖冬といいながら師走になり寒波がやって来ておりますが、会員の皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。今回の例会は、小野寺淳先生（茨城大学）のお世話で下記の通り開催することとなりましたのでお知らせ申し上げます。

今回は、伊能忠敬記念館のご理解とご協力を持ちまして国の重要文化財に指定されています伊能忠敬の遺品の中から西日本を中心とする一連の国絵図を熟覧します。閲覧する国絵図は、今回を最後に閲覧停止になるものもありますので、是非ともこの機会に熟覧して下さい。また、研究会では新進気鋭の山田志乃布先生（法政大学）と杉本史子先生（東京大学）のお二人に下記の通りご発表を賜ります。さらに佐原の町並散策（国の伝建地区）や伊能忠敬記念館の展示見学、宿泊は水郷潮来と盛りだくさんの内容となっております。

今回は、国の重要文化財を閲覧するために事前の特別閲覧申請が必要です。**必ず同封の葉書で1月10日必着でお申し込み下さい。**期限を過ぎますと閲覧をお断りする場合があります。お気をつけ下さい。また、2月5日の昼食時に国絵図研究会編での図書刊行について会議を持ちたいと存じます。是非ともご参加下さい。

■開催地 伊能忠敬記念館 千葉県佐原市佐原イ1722 TEL 0748-54-1118

■日程

2月4日(日) 14:00 JR佐原駅集合(昼食は済ませておいて下さい。)

東京駅11:27*普通/11:45*しおさい5号 千葉駅乗り換え12:20→成田→佐原駅13:30

東京駅12:09*快速エアポート成田→成田→佐原駅13:58

※新幹線の他に福岡空港と大阪伊丹空港より成田空港への空路もあります。

14:00 佐原町並散策 伊能忠敬銅像、伝建地区の景観、伊能忠敬邸など

15:00 伊能忠敬記念館の展示見学

16:00 ホテルより送迎バス

17:00~18:00研究会

報告:

山田志乃布(法政大学):「幕末蝦夷地の絵図について」(仮題)

杉本史子(東京大学):「内務省地図について」(仮題)

宿泊 潮来 富士屋ホテル TEL 0299-62-2000

料金 14,000円(学生・院生 9,000円) /宿泊、懇親会、送迎、研究会会場費など一切を含んでいます。一人部屋(別途料金要)などご希望の方は、はがきにご記入下さい。

2月5日(月) ※熟覧会のみの参加者は直接伊能忠敬記念館においで下さい。

9:30 伊能忠敬記念館所蔵の国絵図(国重文)熟覧

11:30~13:00 昼食/国絵図刊行図書についての会議を行ないます。

13:30~15:00 午前に引き続き熟覧

13:00 解散

(佐原駅 15:39→成田→東京17:33)

計画的測量に必要な地図

周知のように伊能図の精度は、当時の欧米の地図に技術に比べても劣らないものであった。しかし、伊能忠敬の測量技術は、他の測量家の技術と比較して当時とりたてて進んでいた訳ではない。忠敬の測量が優れている点は、日本全土をくまなく丁寧に調査したことにあるのではなかろうか。

特に、忠敬の規則正しい測量には感心する。忠敬の測量は、実に3、737日にも及んだにもかかわらず、ほぼ毎日午前6～7時頃に出発し、午後2～3時頃に宿へ到着している。一日の測量距離も、20～30キロメートル程度と一定である。午後は、休息しながら測量結果をまとめたり、夜の天体観測に備えたのであろう。また、忠敬の測量は二隊に別れて、別の区間を測量して後に集計する方法をとっている。街道が二手に別れる場合、隊を分けて合流地点で落ち合う方法もとった。無理のない規則正しい丁寧な毎日の計画的な測量が、精度の高い日本地図を生み出す秘訣であった。こうした周到な測量は、事前の地図による計画が必要である。

国絵図の書写を依頼

忠敬は、肥前島原から1812年（文化9）11月8日に幕閣の支援者である若年寄堀田正敦の家来の山田綱治郎に次のような書簡を送っている。少し長くなるが、重要なので掲げておきたい。【増村宏編『鹿児島県史料（X）伊能忠敬の鹿児島測量関係資料並に解説』鹿児島県史料刊行会（一九七〇年）六八ページ（所蔵は、日本学士院『伊能忠敬書翰集』となっているが、筆者未見。）】。

（前略）去未年（文化八年）秋冬中ハ御執成を以、九州並ニ壹岐、対州国図書写持参仕候ニ付、九州内彼此ノ街道並名所旧跡等も大略相測候。再測ハ相成兼候西国之儀、御執計ニ而九州図書持参候故と忝奉存候。帰路中国筋も長門、周防、安芸、美作四ヶ国之図も同前書写持参仕候。外ニ小図、板行図も有之候間、城下ハ勿論小街道も名所も相測可申奉存候。就夫出雲国、伯耆国、因幡国三ヶ国図ハ、小図も板図も持參無之候。中国ノ測ニ差支ニ相成候。可相成候ハハ又々御執成を以拝借書写支度候。兼て姓名も申上置候下拙方縁家。殊ニ年来ノ門人龜島桜井秀藏儀、貴宅江参上、右三ヶ国之図御世話願上候様ニ此度書状も遣候。尤取急候儀ニハ無之、來西ノニ三月中ニ写し出来、五月中

ニ御用先江相届候得ハ宣御座候。右桜井秀藏參上御願申上候ハハ、又々乍御世話右三上國之繪図拝借被成下、秀藏江御渡し被下候様ニ頼上候。西国中国共ニ遠国ニ候得ハ、再測之儀ハ仕兼候。此度之繞ニ小街道、國界、城下、陣屋等も相測申度存候（後略）。

この史料によると忠敬は、堀田や山田の厚意によって九州や中国地方の測量の計画や参考のために図書を書写している。特に、長門、周防、安芸、美作については、「國之図」を書写して持参している点が注目できる。おそらく、九州地方も「國之図」を書写して現地に持っていた可能性が高い。さらに、出雲、伯耆、因幡国の「國図」についても忠敬の二男で桜井家に養子にいった秀藏（敬慎）を堀田家に行かせるので、貸し出して書写させて欲しいと願っているのである。秀藏は、どのような国絵図を書写したのであろうか。

伊能忠敬記念館所蔵国絵図への期待

千葉県佐原市の伊能忠敬記念館には、忠敬の測量器具や地図、測量書などとともに多くの国絵図が所蔵されている。その中でも所蔵番号107「諸国大地図（草色表紙）」は大型国絵図を縮写したもので、筑前、肥前、豊前、豊後、肥後、薩摩、大隅、日向、壱岐、対馬、周防、長門、安芸、美作のものである。これは、上述した書翰の「國之図」の書写した国とほぼ一致している点で大変興味深い。

一昨年、熊本県下の自治体史の調査で伊能忠敬記念館の国絵図を調査に訪ねたおり、偶然に川村博忠先生とお会いした。川村先生をお誘いして周防、長門、肥後国絵図について確認したところ、正保国絵図を約3分の1に縮写したもので、書写の文字や色彩共通しており一斉に書写されたことがわかった。正保国絵図のまとまった発見とそれが伊能忠敬の測量で利用されたが可能性が高いことが考えられる点で刺激的であった。早速、川村先生と国絵図研究会の開催を依頼した次第である。

この堀田から書写した国絵図は、堀田が所蔵していたのものか、どこからか借り出したものと考えられる。借り出したとすれば、幕府官庫の紅葉山文庫にある献上国絵図である可能性が高い。紅葉山文庫の貸し出し記録は、幕府書物方日記として国立公文書館内閣文庫に所蔵されているので、是非確認したいと考えている。今回の研究会では、伊能忠敬記念館のご協力で国の重要文化財でしかも痛みが進んでいるにもかかわらず特別に閲覧が許可され、その全貌が明らかになる。上述した忠敬が若年寄堀田正敦の家来の山田綱治郎にあてた手紙との関連が明らかになることを期待したい。

本の紹介

古絵図が語る大津の歴史

発行 大津市博物館
発行年 2000年
定価 800円
版・頁 A4版64頁

葛川絵図研究会の名前で有名になった明王院所蔵の「葛川与香立庄相論絵図（彩色・簡略絵図）」をはじめ比叡山や園城寺の伽藍絵図、大津町絵図など大津市域の中世から近世にいたる絵図を一堂に集めた展示会の図録である。国絵図としては、元禄国絵図の縮写図が掲載されている。購入は直接大津市博物館へ（TEL077-521-2100）

絵図が語る八尾のかたち

発行 八尾市立歴史民俗資料館
発行年 2000年
定価 800円
版・頁 A4版66頁

河内国のほぼ中央にあたる八尾市域の絵図を集めた展示会の図録である。刊行国絵図や淀川・大和川の水系図、八尾市内の村絵図など多くの絵図が掲載されている。宝永6年に刊行された河内国絵図の作者が八尾市植松に住んでいたことを知りえた。農村地帯から絵図が作成されたのは興味深い。どのような人物であったのでろうか。購入は直接八尾市歴史民俗資料館へ（TEL0729-41-3601）

国絵図所在調査を実施しています。会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

本年度の会費を未納の方は、至急お支払い下さい。2000円です。

※振込用紙を必要の方は、下記の磯永までご連絡下さい。

編集後記

今年の秋は、知っている限りだけでも前号で紹介した名古屋市博物館、岡山大学の他に大津市、八尾市などで絵図展が行なわれました。こうした展覧会を通じて、絵図の魅力が一般に普及することを願ってやみません。

◆2001年の夏は、岡山大学付属図書館で池田家文庫の国絵図を閲覧させていただくようお願いしています。予告まで。

《ニュース編集担当：磯永和貴》 〒611-0023宇治市折居台1-14宇治市歴史資料館 TEL0774-20-1311 FAX0774-21-6800》